

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
なみっこキッズクラブ		6 年 8 月 3 0 日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	「はい」が100%		玩具や備品は棚に整理し、活動のスペースの確保に努めている。	現状維持
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	「はい」が100%		配置基準を満たすよう心がけている。	人員の移動があればお伝えする。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	「はい」が100%		危険のないように棚等の配置等に配慮している。	現状維持
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	「はい」が100%		サービス提供後に室内の清掃、玩具等の消毒を行っている。	現状維持
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	「はい」が100%		必要に応じた個別活動出来る部屋、場所が確保されている	現状維持
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	「はい」が100%		ケース記録を確認しながら、PDCAサイクルが上手く回るように職員間での報告・連絡・相談に努めている	現状維持
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	「はい」が100%		保護者向けの評価表の結果を参考に業務の見直しなどに努めている。	現状維持
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	「はい」が100%		毎日、サービス提供時間の前後に会議や話し合いの時間を設け、意見交換を行い業務の見直しや改善を行っている。	現状維持
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	「はい」が100%		第三者による外部評価を行い、業務の見直し等に努めている。	現状維持
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	「はい」が100%		所内研修は月一回行っており、外部研修も積極的に参加するように心がけている。	現状維持
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	「はい」が100%		支援内容は具体的に設定、記載している。	今後もニーズをしっかりと踏まえながら計画書を作成していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	「はい」が100%		アセスメントは最長6か月に1度行い、保護者のニーズを踏まえ計画書を作成している。	引き続き行っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	「はい」が100%		モニタリング、カンファレンス等で職員間で適切な支援の共通理解を図っている。	引き続き行っていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	「はい」が100%		児童発達支援計画書の内容を周知し、計画書に沿った支援を行っている。	引き続き行っていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	「はい」が100%		フォーマルアセスメントをもとに、インフォーマルなアセスメントを併用し、直結する実態を把握することに努めている。	実態を把握し、共有を行っていく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	「はい」が100%		児童発達支援計画には、ガイドラインに沿った支援内容を踏まえ、支援に必要な項目を設定し具体的な支援内容を記載することに努めている。	引き続き行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	「はい」が100%		活動プログラムに参加する職員が作成に参加し、行っている。	引き続き行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	「はい」が100%		毎月テーマを変え、月単位でねらいを定めた継続的な支援を行う一方、飽きないような支援の方法を工夫している。	会報やHPで、支援内容を保護者に見える化していく。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	「はい」が100%		個別活動と集団活動を組み合わせ、計画書を作成し、支援を行っている。	引き続き行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	「はい」が100%		支援開始前に人数や配置の確認、支援内容の共有や打ち合わせを行いチーム連携を図り支援を行っている。	引き続き行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	「はい」が100%		支援終了後、職員間でミーティングを行い共有し、当日休みの職員にも後日出勤時に共有している。	引き続き行っていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	「はい」が100%		日々の支援内容は連絡ノートに記載し保管しており、支援の改善に繋げている。	引き続き行っていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	「はい」が100%		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	引き続き行っていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	「はい」が100%		サービス担当者会議には事前に職員間でのミーティングを行い、児童発達支援管理責任者が出席している。	引き続き行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	「はい」が100%		関係機関と連携して支援を行う体制を整えている。	引き続き行っていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	「はい」が100%		関係機関等と情報共有を行い、児童に対しての理解を深めるようにしている。	引き続き行っていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	「はい」が100%		互いに情報共有を行い、情報共有、相互理解を図るよう努めている。	引き続き行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	「はい」が4名	「いいえ」が2名	今後、積極的に連携を図り、助言を受ける機会を設けていく。	専門機関との連携や、研修受講を促進していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	「はい」が3名	「いいえ」が3名	感染症などを懸念し、実行できていないが系列の保育園や放課後等デイサービスとの交流を積極的に考えている。	今後、実施していく方向。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	「はい」が100%		日頃から、連絡帳や送迎時に状況の共通理解を行っている。	引き続き行っていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	「はい」が4名	「いいえ」が2名	ペアレントトレーニングとしては行っていないが、適宜保護者の対応の仕方などは助言・アドバイス等を行っている。	今後、必要に応じて取り組んでいきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	「はい」が100%		契約時に重要事項説明等で保護者に詳しく説明を行い、質問等があれば丁寧にお答えしている。	現状維持
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	「はい」が100%		保護者や本人の意思を尊重し、利用者の意向確認をしてから子ども優先の観点を踏まえて児童発達支援計画の作成を行っている。	現状維持
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	「はい」が100%		支援計画の内容を更新の度に丁寧に内容を説明し、熟読頂いた上で署名を頂いている。	引き続き行っていく。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	「はい」が100%		保護者からの相談は電話や送迎時で助言を行っている。	引き続き行っていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	「はい」が3名	「いいえ」が3名	現在検討中である。	保護者や職員と話し合い、今後検討していきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	「はい」が100%		相談や申し入れに対して、真摯な対応を心がけている。	引き続き行っていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	「はい」が100%		毎月の会報の作成、HPでの活動概要の発信を行っている。	引き続き行っていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	「はい」が100%		契約時に個人情報の同意書を頂き、個人情報については鍵付き書庫に保管し、誰でも勝手に見られないように慎重に扱っている。	引き続き行っていく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	「はい」が100%		特性に応じた対応を行い、各々の指導員が適切な配慮を行っている。	現状維持
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	「はい」が2名	「いいえ」が4名	今後は地域への貢献活動などを検討中である。	今後、積極的に取り組んでいきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	「はい」が100%		各種マニュアルについては定期的に職員研修を実施し、知識、技能向上に努め、訓練も行い、訓練については保護者にもお知らせしている。	引き続き行っていく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	「はい」が100%		年に2回以上の避難訓練を行っている。	引き続き行っていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	「はい」が100%		アレルギーの有無については契約時、アセスメント時に確認し、対応についても確認を行っている。	引き続き行っていく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	「はい」が100%		契約時にアレルギーの有無を確認し、おやつ提供時には細心の注意を払っている。	引き続き行っていく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	「はい」が100%		定期的に必要な訓練や研修を行い、安全管理に十分配慮した支援を行っている。	引き続き行っていく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	「はい」が3名	「いいえ」が3名		スタッフ間での安全確認や連絡網、連携体制は取れているが、保護者への取り組み内容の説明がすべて周知できている訳ではないので、今後は十分な周知を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	「はい」が100%		ヒヤリハット発生時には管理者の報告するとともに報告書の作成を義務付けている。また、報告書は随時全スタッフが随時見ることができるようファイルに閉じて保管している。	引き続き行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	「はい」が100%		定期的に入権及び虐待防止研修を行っている。	引き続き行っていく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	「はい」が100%		契約時に保護者へ事前説明を行っている。	引き続き行っていく。	